



令和7年度 学校だより

城南っ子

〔学校教育目標〕
自律的に学び、認め合い、
ともに成長しようとする児童の育成

那覇市立城南小学校
令和7年4月22日
第5号
文責：校長 田島正敏

全国学力・学習状況調査



歯科検診



今週から歯科検診が始まっています。歯は定期的に歯科医院に通って歯石を除去するなどのメンテナンスが必要です。検診前にかかりつけの歯科医に行っておくことをお勧めします。学校歯科医の護得久先生によると「低学年は検診前に歯を磨いている児童が多いが、高学年は磨いていない児童が多かった。今年は磨いている児童が多い」そうです。う歯(虫歯)の児童も城南小は少ないそうです。

全国学力学習状況調査が行われました。対象は6年生で、17日(木)に国語、算数、理科教科、18日(金)に質問紙調査を行いました。

今回から質問紙調査は紙で行わず、GIGA スクール構想により整備された1人1台端末、ネットワークを活用して「文部科学省 CBT システム」を活用して入力することになっています。教科の問題についても順次 CBT を使っていくことになります。CBT を用いる意義として、主に次の3点を挙げています。

- ① 解答データを機械可読のビッグデータとして蓄積できる。
- ② ICT 端末上で出題・解答することで、多様な方法・環境での出題・解答が可能になる。
- ③ 電子データにより問題・解答を配信・回収することで負担を軽減できる。

学校では、より広い領域・内容等について学校全体の課題を把握できるようになり、きめ細やかな指導改善につなげることができようになること。また、学校としての経年変化も確認できるようになるというメリットを挙げています。

新年度が始まって以来、行事や委員会活動など、学校のために率先して力を発揮してくれている城南小の顔、とても頼もしい6年生です。この日も、真剣な眼差しで問題と向き合い、鉛筆を走らせていました。(今後は、「キーボードをたたいていました。」になるのかな。)

24日(木)には、同様の CBT システムを使った「学びのたしかめ」(今回から算数のみ)が4・5年生を対象に行われます。頑張れ!!

春の遠足の事前学習 6年



メモをとりながらしっかり話を聞いています。これが5インチ砲でしょうか

アサガオの種を植えました 1年



1年生が生活科でアサガオの種まきをしました。種まきをして2・3日ほどで発芽し、子葉(1年生では「ふたば」と呼びます)が観察できます。これから成長していく様子が楽しみです。



ハグ&お手伝いの取り組みを紹介します。

先週「ハグ&お手伝い・親子読書」の取り組みをお願いしたところ、うれしいですね。早速取り組みのエピソードを「初めての『家庭の日』」という題名でいただきました。

日曜日の朝「ボク、お手伝いするよ!」と起きたりうた。寝室のカーテン、窓を開け、テーブルを拭き、くつも並べて自信満々。「すごーい!!」「ありがとう!!」と頭をなでるとニヤニヤ照れ笑いを見せてくれました。久しぶりの気持ちのいい朝でした。

次も、家族のためにお手伝いしてくれたら、いっぱいハグもしてくださいね。

春の遠足は仲間作り等の目的で行うのが一般的ですが、校外に出て学ぶよい機会でもあります。歴任校で平和祈念資料館に行ったのですが、児童の中に怖がって資料館に入れない児童がいました。事前の学習が足りなかった結果だと私は思っています。行った先で、怖いからといって学びを避けてしまっただけで残念で仕方ありません。これから沖縄戦についてしっかり学んで、怖い、気持ち悪いなどでは済まされないと、この沖縄の地で起きた事実として正面から捉え、そしていまだに世界ではこの惨劇が繰り返されていることへの怒りや悲しみなど自分の言葉で表現できるようになって欲しいと思います。

本校の6年生は、春の遠足で「首里周辺の戦跡巡り」を行います。18日(金)に、遠足当日もフィールドワークに同伴して下さる下地史彦先生をお招きして事前学習を行いました。以下は事前学習後の6年生の感想です。

- ・首里城に旧日本軍の司令部があったと聞いて驚きました。
 - ・子どもたちを船で疎開させたのは小4~6年の男子を守るため、軍の食糧確保のためだったとわかりました。
 - ・沖縄では5インチ砲弾が使われ、首里城の下に司令部があったため集中的に攻撃されたことなどを知ることができました。それと同時に、戦争をやってはいけない理由を改めて考えることができました。
- そのほかいろいろな感想がありました。戦跡を巡りながら感じたことも聞かせて欲しいですね。